

第3回佐倉市部活動地域指導事業検討会 会議録（要録）

期 日 令和6年3月26日（火） 開会 午前10時00分
閉会 午前11時00分

会 場 社会福祉センター3階 中会議室

出席委員 青木 和宏委員、沼尻 潤委員、齊藤 太郎委員、
佐瀬 興洋委員、山田 真史委員、石橋 廉委員、
緑川 義徳委員、菊間 明美委員、村上 武宏委員、
榎本 泰之委員、舎人 樹央委員、遊佐 憲司委員

傍 聴 人 3名

事 務 局 指 導 課 神成 裕尊、小林 亜也子
教育総務課 伊藤 浩司
スポーツデータバンク株式会社1名

1 開会

【司会（神成）】

本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、只今より第3回佐倉市部活動地域指導事業検討会を開催させていただきます。しばらくの間、進行を務めます指導課の神成でございます。最初に、配布資料の確認をいたします。本日配布している資料は、

- ・ 会議次第
- ・ 佐倉市部活動地域指導事業検討会 第3回会議資料
- ・ スポーツデータバンク配布資料

以上、不足などございませんでしょうか。

なお、本日の会議の議事録を作成するため、会議の内容を録音させていただきますのでご了承ください。また、本日の会議には今年度、部活動地域指導事業業務委託を受託した、スポーツデータバンク株式会社からも1名ご参加いただいております。

それでは、本検討会の設置要綱第6条の規定により、会議の議長は会長が行うこととなっておりますので、以後の進行を会長にお願いいたします。

【議長】

本日は皆様お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。本日の出席委員は12名で過半数を超えておりますので、会議は成立いたします。

なお、本日の会議につきまして「佐倉市情報公開条例」の規定により、会議は原則公開であり、事務局より本日の会議を公開することについて支えないとの見解も示されておりますので、公開となります。また、本日の会議には傍聴希望が3名ございます。傍聴人に入室していただきますので、しばらくお待ちください。

傍聴人の入室

【議長】

傍聴人の方は、お手元の傍聴要領に従っていただきますようご協力をお願いいたします。

2 教育長挨拶

【議長】

最初に協議・報告事項に移ります前に、今年度最後の会議という事もございますので、圓城寺教育長より、ご挨拶を申し上げます。

(教育長挨拶)

ありがとうございました。ここで、圓城寺教育長は公務のため退席させていただきます。(事務局案内)

3 協議・報告事項

【議長】

それでは協議・報告事項に移ります。最初に前回会議以降の市の動きについてと、令和5年度事業のまとめについて、事務局から説明を求めます。

① 前回会議以降の市の動き

- ・事務局説明
- ・事例紹介：臼井中学校陸上競技部の活動動画

② 令和5年度事業のまとめ

- ・スポーツデータバンクから説明

【議長】

ただ今事務局から説明がございました。今年度最後の会議ということで、各委員から今年度事業についてご意見やご質問を頂戴したいと思います。

委員お一人ずつ今年度の感想や来年度に向けてのご意見をご発言

ご意見などの概要

生徒への影響について

- 活動の様子を VTR で観る限り、生徒たちが楽しそうに活動している点は非常に評価できる。来年度は 1 1 部活に広げるとのことだが、引き続き生徒たちを中心として事業を進めてほしい。
- この取り組みによって、生徒に負担が生じないことを念頭に置きながら進めてほしい。

指導者について

- 活動を広げていくには、質の高い指導者の確保も重要。技術的な指導も重要だが、パワハラなどを防止する意識がより重要になってくると思う指導者への研修なども引き続きしっかり行ってほしい。
- 近隣市も同様の取り組みを行っていくことを考えると、指導者不足が生じる可能性もある。指導者確保の仕組みづくりを進めてほしい。

学校現場への影響について

- この取り組みによって、部活動指導を望まない教員の負担軽減が図られること、それにより学習や生徒指導といった、本来教員の能力が発揮されるべき分野に力が注げるようにしていただきたい。
- 教員の中には、部活動指導をやりたいという熱意を持っている方もいるので、そういった方の希望もしっかりと受け止められる制度設計をしてあげるべき。

取り組み全般について

- 今年度と来年度は、実証実験ということで市が謝金を負担するようだが、先行して実施している自治体を見ると受益者負担という考えがないと制度としては続かないと思う。その辺は、保護者をはじめと

した関係者にしっかりと説明をしながら慎重に進めてほしい。

- 実証実験として市が費用負担している間に、出来る限り多くの生徒が外部指導者からの指導を受けられる環境をつくってあげることで、この取り組み自体への理解は広まると思う。部活動という枠だけではなく、体験イベントなども検討していただきたい。
- まだまだ課題の多い取り組みと思うが、子どもたちのためによりよい形を求めて、どんどん進めてほしい。

【議長】

皆様ありがとうございました。事務局は皆様からのご意見を踏まえながら、慎重かつ着実に事務を進めていくようお願いいたします。続いて、来年度事業について事務局から説明を求めます。

・事務局説明

【議長】

ただ今、事務局から来年度事業について説明がございました。来年度については、実証実験を全市に広げていくということと、推進計画についてこの会議で議論していくということですので、引き続き皆様にはご協力をお願いできればと思います。

それでは、第3回佐倉市部活動地域指導事業検討会を閉会いたします。皆様議事進行へのご協力、ありがとうございました。

(閉会)